

# ワンランク上のシーラー

SURE

型番 NL-202JC-5/202JC-10/302JC-5/402JC-5

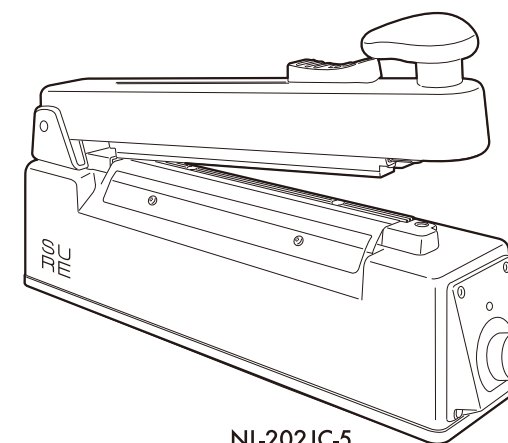
卓上型シーラー

SURE

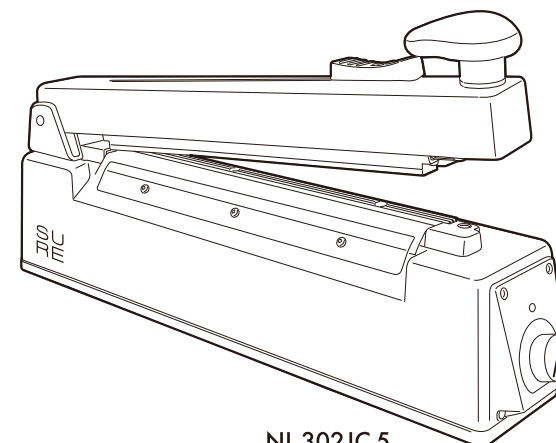
## 取扱説明書

このたびはシュアードシーラーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

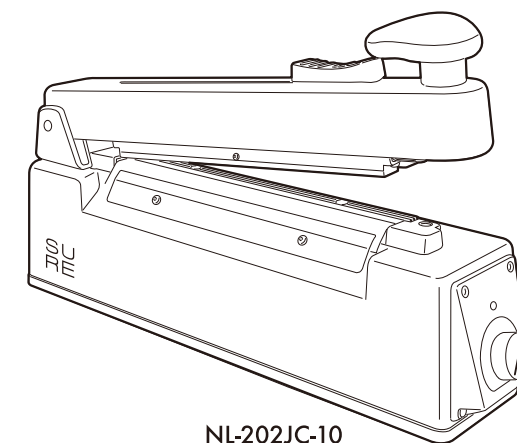
本器の据付、作業、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全上のご注意、使用方法、機器の知識などについて内容をご理解された上で正しくご使用ください。  
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように、必ず保管してください。



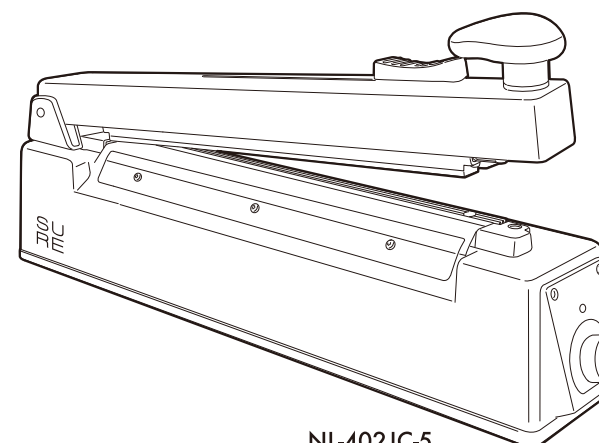
NL-202JC-5



NL-302JC-5



NL-202JC-10



NL-402JC-5

シュアードお客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL 048-931-3110	受付時間 月～金の9時～12時 13時～17時 (祝日・年末・年始・夏季などの休業中を除く)

最新情報 | <http://www.sure-ishizaki.co.jp>

シュアードシーラー 検索

## 株式会社 石崎電機製作所

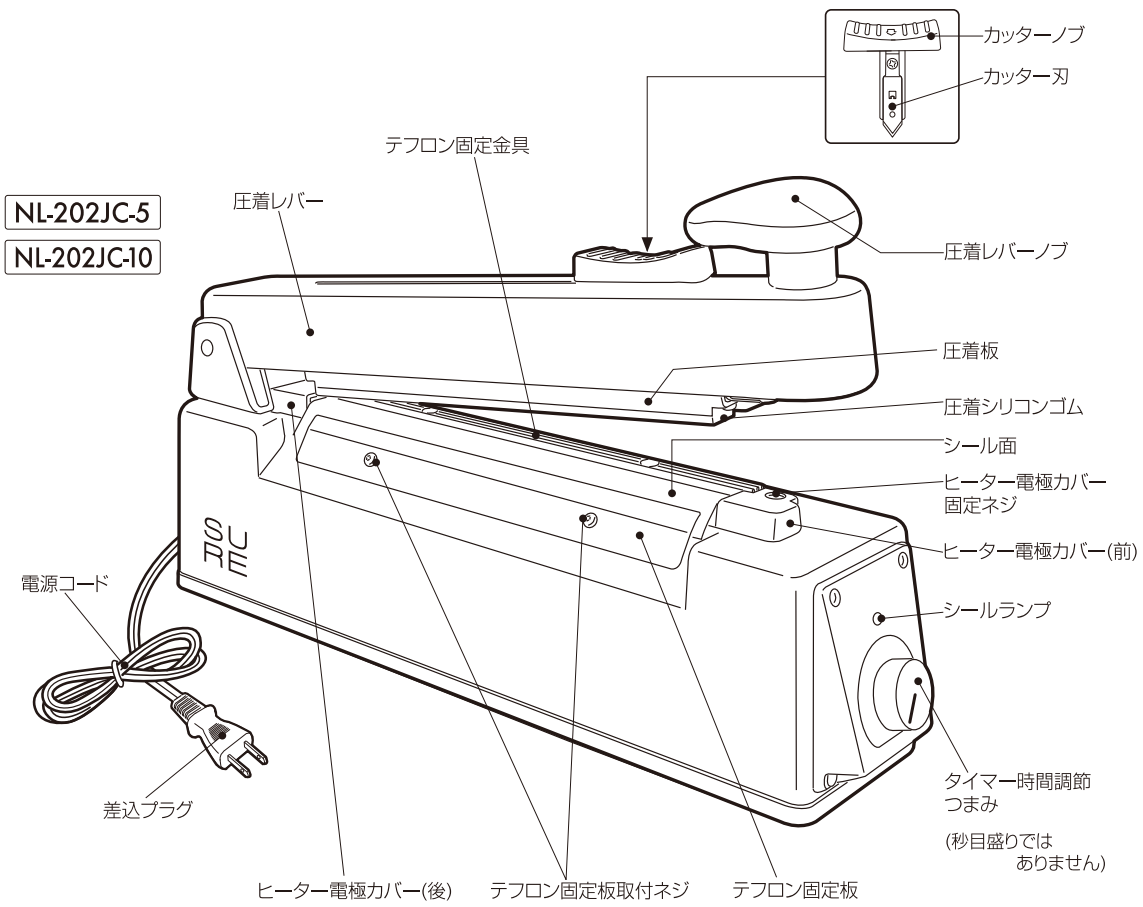
東日本営業所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031

西日本営業所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893

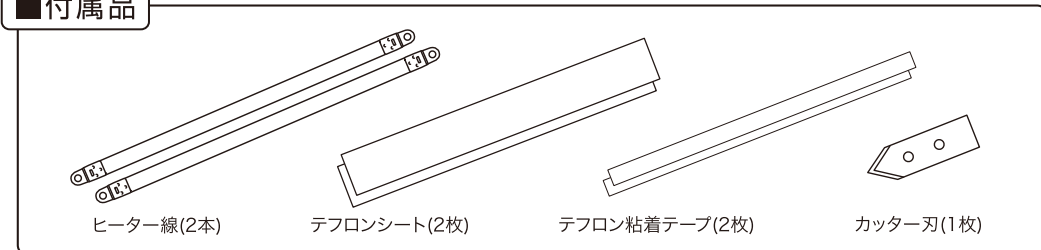
もくじ	ページ
各部の名前	1~2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4~5
使用方法	6
保守点検	7~12
故障かな?と思ったら	13
仕様	13
アフターサービスについて	14

# 各部の名前

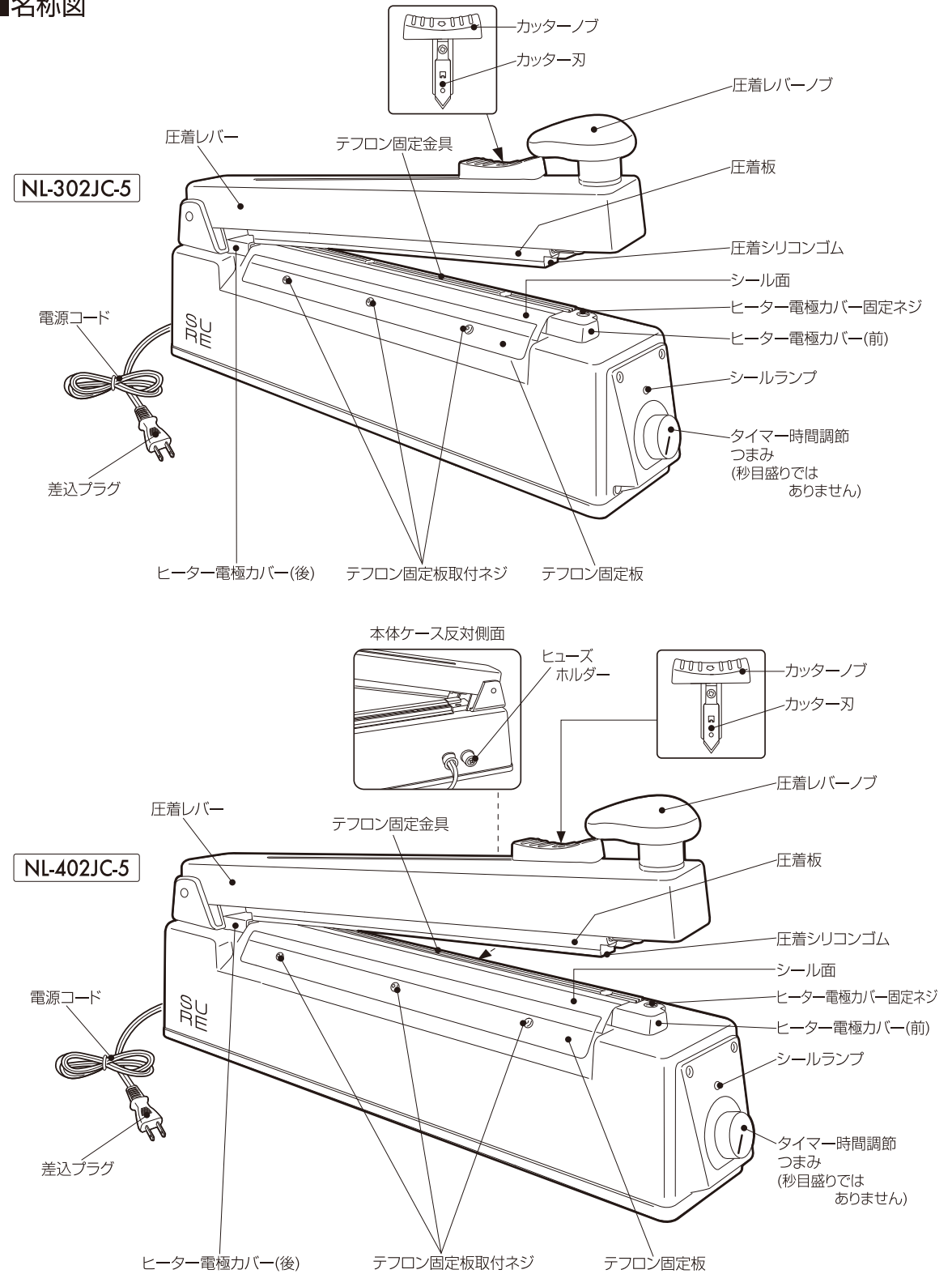
## ■名称図



## ■付属品





## ■名称図



# 安全上のご注意



ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

## ■表示と意味は次のとおりです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して間違った取り扱いをしますと、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

## ■具体的な絵表示には次の意味がありますので十分に理解してお読みください。

	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

## 警告

 ●修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わない。また、改造しない。 感電・発火、異常動作などによりけがの原因になります。	 分解禁止	 ●火薬・揮発性引火物、燃えやすい物のあるところでは使用しない。 爆発・火災の原因になります。	 使用禁止
 ●子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。 やけど・感電・けがの原因になります。	 接触禁止	 ●水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。 ショート・感電の原因になります。	 水濡れ禁止
 ●ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。 感電の原因になります。	 使用禁止	 ●100Vのコンセントを単独で使う。 他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火の原因になります。	 分岐コンセント使用禁止

# 使用上のご注意

## 注意

●本器に定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しない。 取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用ください。	 使用禁止	●交流100V以外では使用しない。 火災・感電・故障の原因になります。 ※本器は日本国内、AC100V専用です。	 使用禁止
●使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。 けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。	 プラグを抜く	●電源コードを持って引き抜かない。 差込プラグを抜くときは、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。	 プラグを持って
●電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 禁止	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。 コードの異常発熱や破損により火災、感電、けが、やけどの原因になります。	 禁止
●濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。 感電事故の原因になります。	 禁止	●圧着レバーとシール部の間に腕や指を挟まない。 やけど・けがの原因になります。	 禁止
●テフロンシートが破損したまま使用しない。 感電・やけどの原因になります。	 禁止	●ヒーター線やテフロンシートの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。 感電・やけどの原因になります。	 プラグを抜く
●通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。 やけど・落下によるけがの原因になります。	 使用禁止	●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。 火災、火煙、発火の原因になります。	 使用禁止
●使用中や使用直後はシール部に触れない。 シール部は高温のため、やけどの原因になります。	 接触禁止	●落下したり、破損した場合は差込プラグを抜き、保守点検を行う。故障や異常がある場合は使用を中止し、修理を行う。 感電・やけどの原因になります。	 必ず行う
●保管するときは必ず差込プラグをコンセントから抜く。 けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。	 必ず行う	●カッター刃には交換時以外は触れない、鋭利な刃です。 けがの原因になります。	 接触禁止

## お願い

●シール作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い設定の確認をしてください。 タイマーの通電時間、溶着具合を確認してください。 材質・厚さ・重ね枚数によってはシールできない場合もあります。	●圧着レバーのシリコンゴム表面、シール面はつねに清潔にしてください。 ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるときれいにシールができません。
●テフロンシート、テフロン粘着テープ、シリコンゴムは傷んだまま使用しないでください。 ヒーター線が断線したり、シールが不安定になりきれいにできなくなります。	●連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。 内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。 各部品の寿命も著しく低下しますので本体が冷めるまで休ませるようにしてください。
●傷んだヒーター線は取り付けしないでください。 折れたり欠けたりしている場合は、本器の故障や断線などの原因になります。	●必ず定期点検を実施してください。 使用頻度 約30,000回~50,000回または1年に1度を目安としてください。
●ヒーター、テフロンシート、テフロン粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。 ご使用前に必ず確認して頂き消耗している場合は、新品と交換してください。	●カッター交換時は直接刃に触ってけがをしないよう十分に注意してください。

# 使用上のご注意(2)

## 注意事項

■使用開始前に必ず設置場所、本体各部の点検を行い、最後に通電テストをして、異常がない事を確認してください。  
万が一異状がある場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、又は弊社「シュアーお客様ご相談センター」にご連絡ください。

### ■使用上のポイント

- 通電時間の設定は材質、厚さなどによりタイマーで設定してください。  
※タイマーの目盛りは、秒目盛りではありませんのでご注意ください。
- タイマー時間が長い場合、シール面が溶解してしまいます。その場合は通電時間を短めに調整してください。
- 作業の際、シールランプが消えた後、2~3秒間圧着レバーを押し下げた状態で保持し冷却してください。  
冷却時間がない、又は少ないとシール面がきれいに仕上がりに丈夫に仕上がりにません。
- 本器のシール面と圧着シリコンゴム表面は常にきれいな状態にしてください。  
汚れているとシール面がきれいに仕上がりにません。

■ヒーター線は各機種に合わせた専用設計になっていますので、入れ替えての使用はできません。  
巻末の交換用別売品の表に従い、メンテナンス時の交換の際は、適切な部品をご使用ください。

### ■作業手順

- ・本器は瞬間的に電流を流し、ヒーター線を発熱させビニールフィルムを熱溶着する機器です。
- ・溶着可能なビニールフィルムの厚さは右記のとおりです。

機種名	フィルム	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)
NL-202JC-5	0.6mm以下	0.6mm以下	0.4mm以下
NL-202JC-10			0.5mm以下
NL-302JC-5			
NL-402JC-5			

※注意: 数値は2枚以上かさね合わせた合計の厚さです。

### ■溶着する場合と溶断する場合は、それぞれ専用機種をご使用ください。

- 溶着標準機種……NL-102J・202J・302J・402J  
カッター付き……NL-202JC-5・202JC-10・302JC-5・402JC-5
- 溶断専用機種……NL-202JR・302JR

## 安全装置について

NL-202JC-10、NL-402JC-5は、内部の変圧器が高温になると、安全装置が動作します。このため、作業間隔を30秒以上あけて、連続1時間程度を目処にご使用ください。安全装置の作動時はヒーターに通電されなくなり、シールができません。安全装置が動作した場合、本体を十分に冷まし(1時間以上)常温になってから、再度ご使用ください。

# 使用方法

## ■準備

- 1) 本器を安定したテーブルなどの上に置きます。
- 2) 差込プラグをコンセントに差し込みます。  
コンセントは13ページの「仕様」に記載されている電圧、電力が確保できるものを単独で使用してください。  
差込プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 出荷時はカッター刃に保護材が付いており、そのままでは切断ができません。(10頁参照)  
使用開始前に、カッター刃を覆っている保護材を剥がしてください。  
カッター刃は鋭利になっていますので、保護材をはがす際は、手や指などを切ったりしないように十分に注意してください。  
※保護材がカッター刃に残らないようきれいに剥がしてください。

## ■作業

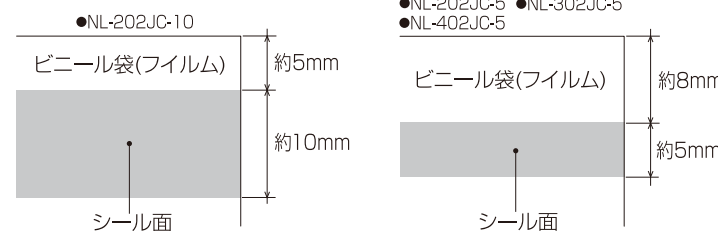
1) シールの材質、厚さなどに合わせてタイマー時間調節つまみを回し、タイマー時間を設定します。

型番	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)
NL-202JC-5	0.6mm以下	0.4mm以下
NL-202JC-10		0.5mm以下
NL-302JC-5		
NL-402JC-5		

- タイマー時間は材質、フィルムの厚みに合わせて設定してください。
- 機種によりタイマー時間は異なります。
- 周囲の環境により条件が変わる事がありますので、溶着状態を確かめながら調節してください。
- 連続でご使用の場合、本器の温度が上がり溶着の状態が変わってくる場合がありますので、作業時はシール状態を確認して頂きながらタイマー時間を調節し直してください。

- 2) カッターノブを圧着レバーの両端のどちらかにセットしてください。  
カッターノブが圧着レバーの中央部にあると、シール作業の際にビニール袋に穴を開けてしまいます。
- 3) シールする部分がシワにならないように、本器のシール部に置きます。
- 4) 片手でビニール袋を押さえ、もう一方の手で本器の圧着レバーノブを下に押し、圧着レバーを下げます。
- 5) 圧着シリコンゴムがビニール袋を押さえてから、更に押し下げると「カチッ」と音がしてタイマーランプが点灯しますが更に圧着レバーを押し下げてください。
- 6) タイマーランプが消灯してから、2秒以上圧着レバーを一番下まで押し下げた状態で保持してください。  
タイマーランプが消灯後、すぐに圧着レバーをあげてしまうと、綺麗にシールできません。  
また、圧着レバーを押し下げる際は、力を入れて確実にしっかりと押し下げてください。
- 7) 圧着レバーを押し下げた状態で、カッターノブをスライドさせます。  
カッターノブはどちら側からでも切断が可能です。
- 8) 圧着レバーを上げ、ビニール袋(フィルム)を取り外し作業完了です。

### ※切断部の目安

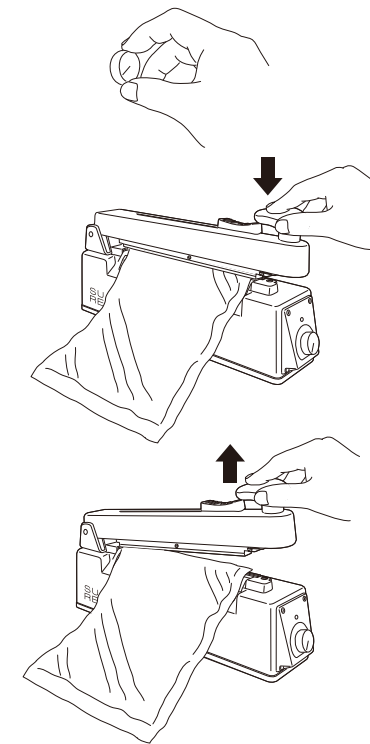


シール作業完了後、次の作業までは下表以上の間隔をあけてください。

NL-202JC-5 NL-302JC-5	➡ 20秒以上	NL-202JC-10 NL-402JC-5	➡ 30秒以上
--------------------------	---------	---------------------------	---------

※短い間隔で連続運転をしますと、シール状態が悪くなったり、機器の故障や事故の原因になります。また、短時間での連続作業を行うと本器の表面が高温になり危険ですので、必ず作業間隔を開けて作業を行ってください。

圧着レバーを押し下げる際は、力を入れて確実にしっかりと押し下げてください。また、タイマーランプが消灯後、すぐ圧着レバーを上げてしまうと、綺麗にシールできません。必ず消灯後2秒以上押し下げた状態を保持してください。



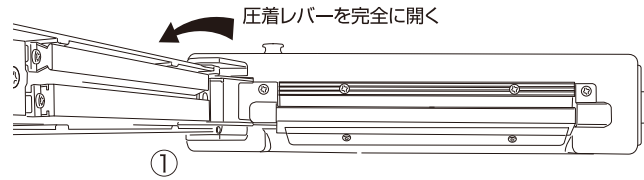
# 保守点検(1)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

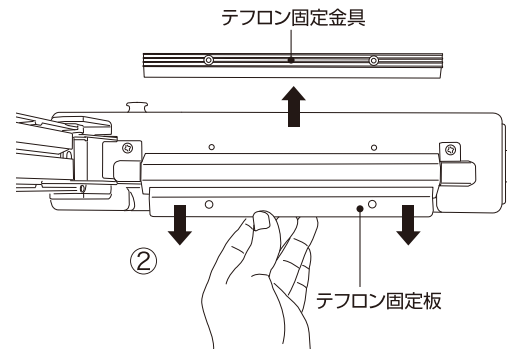
## A テフロンシート交換

### ■テフロンシート取り外し

①圧着レバーを持ち上げ完全に開いた状態にします。

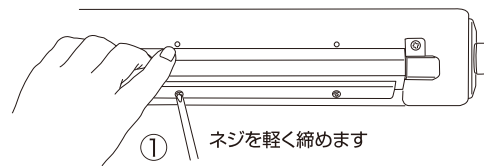


②テフロン固定板、テフロン固定金具それぞれの取付ネジを取り外し、使用済みのテフロンシートを取り外します。  
※202/JC-5/10はネジ2本×2、  
302/402/JC-5はネジ3本×2

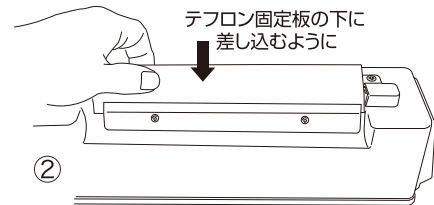


### ■テフロンシート取り付け

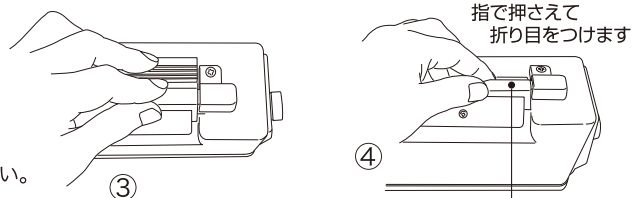
①テフロン固定板を本体に軽く取り付けます。  
※テフロンシートを差し込める程度にネジをかるく締めてください。



②テフロンシートをテフロン固定板の下に差し込むように取り付けます。  
※テフロン固定板と本体ケースの間に差し込みます。



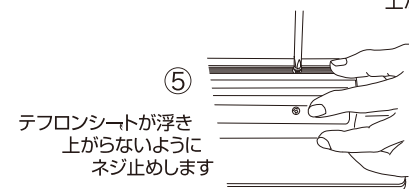
③テフロンシートが斜めにならないよう、位置を調整してテフロン固定板のネジを締めます。



④テフロンシートを本体ケースのヒーターベース面に合わせて指で押さえつけながらかるく折り目をつけます。このとき、テフロンシートがヒーター面から浮き上がらないように折り目をつけてください。



⑤テフロン固定金具を、テフロンシートを押さえつけるように取り付けます。  
※テフロンシートがヒーター面から浮き上がらないように押さえつけてネジ止めします。

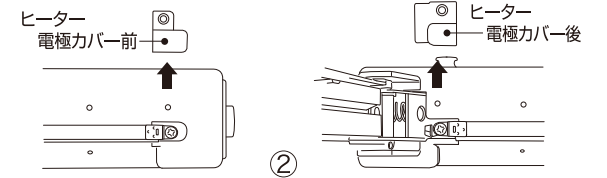


## B ヒーター交換

### ■ヒーター取り外し

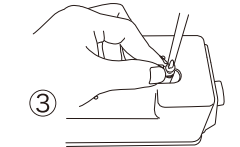
①テフロンシートを外します～テフロンシート取り外し参照

②ヒーター電極カバー前・後を外します。

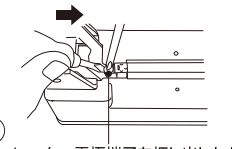
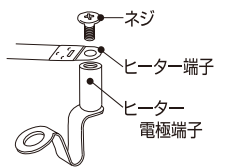


③本体前側(タイマー側)のヒーター端子をヒーター電極端子から外します。ヒーター電極端子はバネになっているので、ネジをはずした時に所定位置に勢い良く戻らないよう、ヒーター端子部とヒーター電極端子を同時につかんだ状態でネジを外してください。ヒーター端子固定ネジを外したら、ヒーター電極端子をゆっくりと定位置まで戻してください。急に支えをはずすと、勢い良くもどり、ヒーター張力バネ絶縁チューブが外れてしまう場合があるので注意してください

ヒーター電極端子とヒーター端子を一緒につまみ、ネジを取り外す



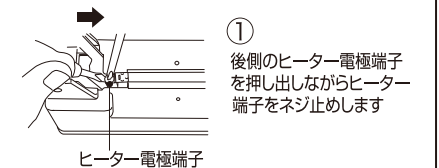
④圧着レバー根元側のヒーター端子取り付けネジを、ヒーター電極端子から外し、ヒーターを取り外します。ヒーター電極端子をマイナスドライバーなどで押し出してネジを外してください。  
※ネジを本体内部に落とさないよう注意してください。  
ネジとヒーターを外した後、ヒーター電極端子をゆっくりと所定位置に戻します。



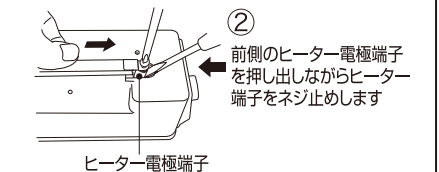
ヒーター電極端子を押し出しながらネジをゆるめてヒーター端子を外す

### ■ヒーター取り付け

①圧着レバー根元側ヒーター電極端子へヒーター端子を取り付けます。ヒーター電極端子をマイナスドライバーなどで押し出した状態で、ネジを取り付けます。  
※ネジは外れない程度に仮止めしてください。



②前側のヒーター電極端子をマイナスドライバーなどで押し出しながら、ヒーターを少し引っ張り、ヒーター端子の穴とヒーター電極端子のネジ穴部を合わせて、ネジ止めします。

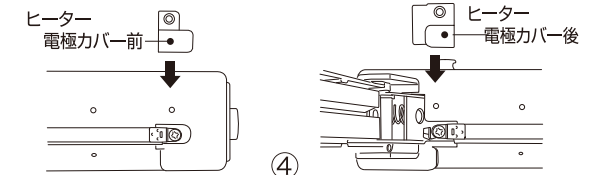


※ネジは外れない程度に仮止めしてください。

③ヒーターが曲がらずまっすぐに張られるよう、指でヒーターを押さえずれないように注意しながら、前後のヒーター取付ネジを締め付けます。ネジが緩んでいると、通電不良、ヒーター破損などの故障の原因になりますので、緩みの無い様しっかりと締め付けてください



④ヒーター電極カバー前・後を取り付けます。



⑤テフロンシートを取り付けます～テフロンシート取り付け参照。

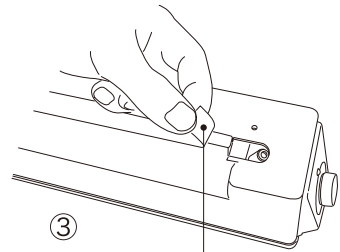
# 保守点検(2)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

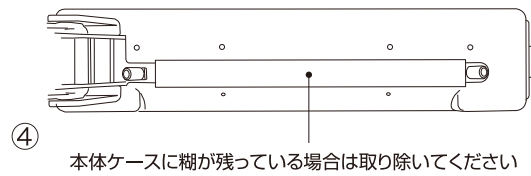
## C テフロン粘着テープ交換

### ■テフロン粘着テープ取り外し

- ①テフロンシートを外します～テフロンシート取り外し参照
- ②ヒーターを外します～ヒーター取り外し参照
- ③テフロン粘着テープを本体から剥がしとります。
- ④本体ケースにテフロン粘着テープの糊などが残っている場合は、きれいに取り除いてください。



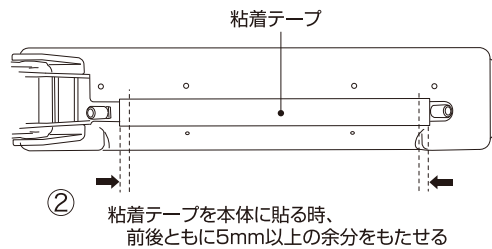
テフロン粘着テープを剥がします



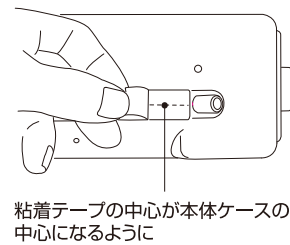
④ 本体ケースに糊が残っている場合は取り除いてください

### ■テフロン粘着テープ取り付け

- ①テフロン粘着テープ貼り付け面に糊の残りや異物などが無いようにきれいにしてください。
- ②本体ケースのヒーター面に対して前後ともに5mm以上余分があるように貼り付けてください。  
※必ず余分を持たせてください。  
※テフロン粘着テープの中心が本体ケースの中心と合うように貼り付けてください。  
※途中で折れたり、空気などが混入したり、シワにならないよう注意してください。



② 粘着テープを本体に貼る時、前後ともに5mm以上の余分をもたせる



粘着テープの中心が本体ケースの中心になるように

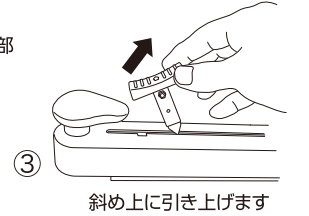
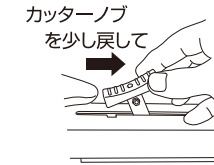
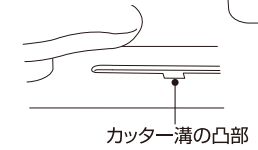
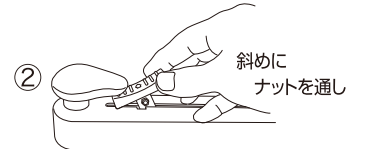
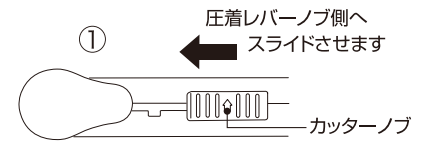
- ・テフロン粘着テープは、指定の物をご使用ください。
- ・長いものを切断して使用する場合は、本体のヒーター面に対して、前後とも5mm以上の余分が出る長さに切断してください。

## D カッターノブの着脱と刃の交換

■カッター刃は鋭利な刃物です。カッターの着脱、カッター刃の交換作業においては、ケガをしないように取扱いには十分注意してください。

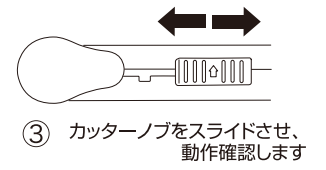
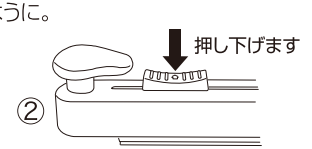
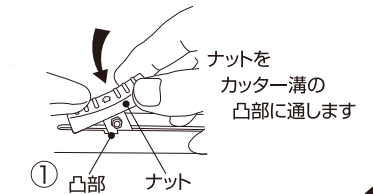
### ■カッターノブの取り外し

- ①カッターノブをカッター溝に沿って圧着レバーノブ側へスライドさせます。
- ②カッター溝の凸部から、カッター刃をカッターノブに固定しているナットを通すように持ち上げます。  
カッターノブの圧着レバーと反対側の端を持ち、斜めに持ち上げます。
- ③カッターノブを斜めに持ち上げ、ナットが圧着レバーの上に出てきたら、カッターノブを少し戻して圧着レバーノブから放すように斜め上に引き上げます。



### ■カッターノブの取り付け

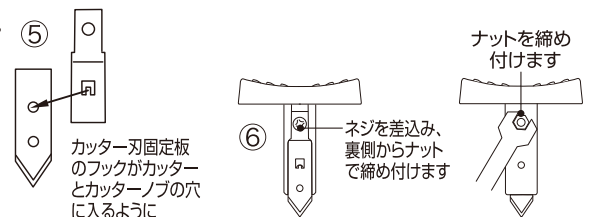
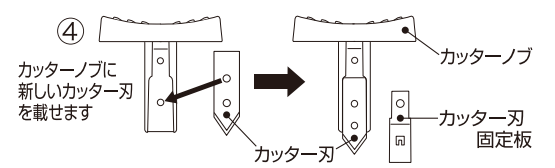
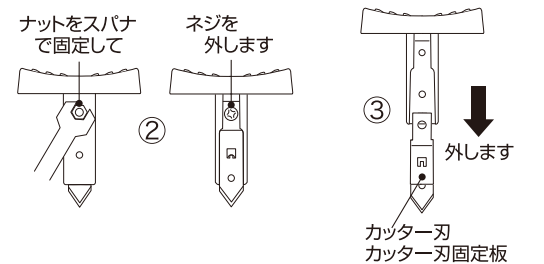
- ①カッターノブを斜めにして圧着レバーノブの下側へカッターノブの片側を入れ、ナットをカッター溝の凸部に通します。
- ②カッターノブが圧着レバーに密着するよう押し下げます。  
※カッターノブが圧着レバーに対して浮きがないように。
- ③カッターノブをスライドさせ、動作確認します。



### ■カッター刃の交換

■カッター刃は鋭利な刃物です。交換作業の際は、ケガをしないよう刃先の取扱いには十分注意して作業してください。取り外した刃先を廃棄する場合は、事故のおこらないよう注意してください。

- ①カッターノブを取り外します。～カッターノブ取り外し参照
- ②ナットをスパナ(6mm)で固定し、反対側のネジをゆるめ、外します。
- ③カッター刃とカッター刃固定板を外します。
- ④カッターノブに新しいカッター刃を載せます。  
カッター刃の上側の穴とカッターノブの下側の穴位置が合うように載せます。
- ⑤カッター刃固定板をカッター刃固定板のフックがカッターとカッターノブの穴に入るようにカッター刃の上に乗せます。
- ⑥カッター刃固定板の面からネジを差込み、裏側からナットで締め付けます。  
緩みの無い様確実に締め付けてください。
- ⑦圧着レバーに取り付けます。～カッターノブ取り付け参照

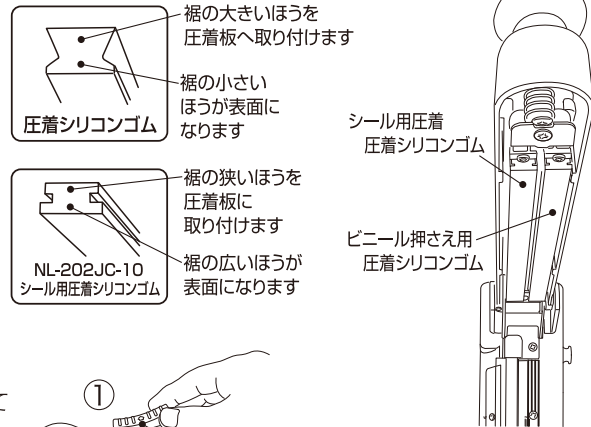


# 保守点検(3)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

## E 圧着シリコンゴム交換

- ・圧着シリコンゴムは、片面のみ使用できます。
- ・使用面が消耗したら新しいものと交換してください。
- ・シール用圧着シリコンゴムは消耗品のため、日常点検を行い消耗している場合は交換してください。
- ・ビニール押さえ用のシリコンゴムは、消耗が少ないため、定期的な交換の必要はありません。

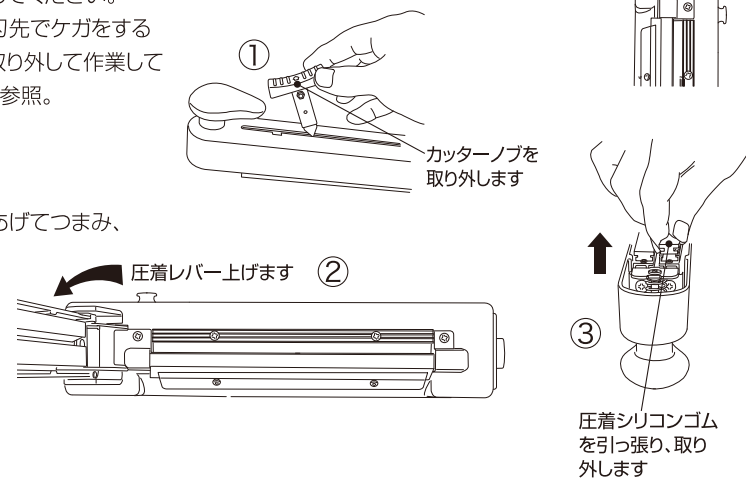


## ■圧着シリコンゴム取り外し

①カッターノブを圧着レバーから取り外してください。カッターが付いた状態で作業すると、刃先でケガをする恐れがありますので、必ずカッターを取り外して作業してください。\*カッターノブの取り外し参照。

②圧着レバーを上げます。

③圧着シリコンゴムの片側の端をめくりあげてつまみ、そのまま引っ張り、取り外します。



## ■シリコンゴム取り付け

①圧着板の溝部分に、圧着シリコンゴムを差し込みます。

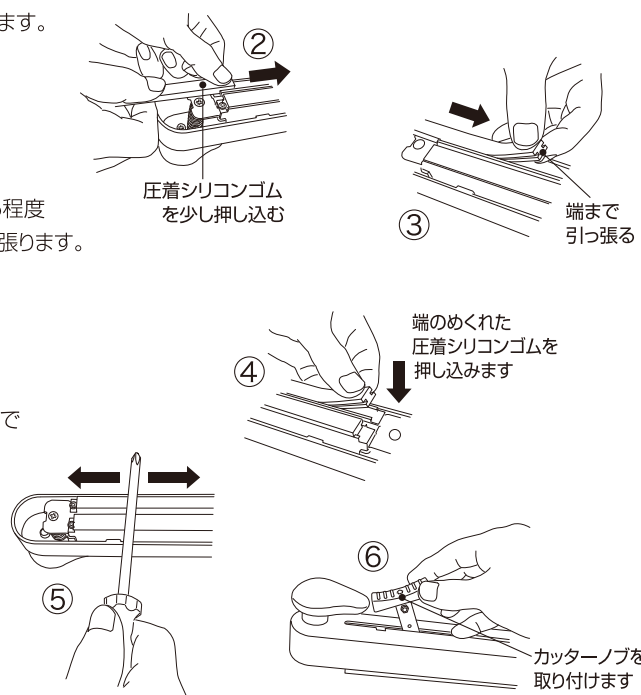
②圧着シリコンゴムを圧着板に少し押し込みます。

③圧着シリコンゴムの端を圧着板から指でつまめる程度めくりあげ、めくり上げた部分をつかみ、端まで引っ張ります。

④端のめくれた部分を圧着板へ押し込みます。

⑤圧着シリコンゴムの表面をドライバーの軸部などで力を入れて、平らにならしてください。このとき、圧着シリコンゴムの両端が圧着板の端部と同じ位置になるよう注意してください。

⑥カッターノブを取り付けます。  
\*カッターノブ取り付け参照



## F タイマー交換

①タイマー取付ネジを外します。(4ヶ所)

②本体を裏返し、脚ゴム(4ヶ所)を外します。

③底板を取り外します。

④タイマーからコネクターを引き抜きます。

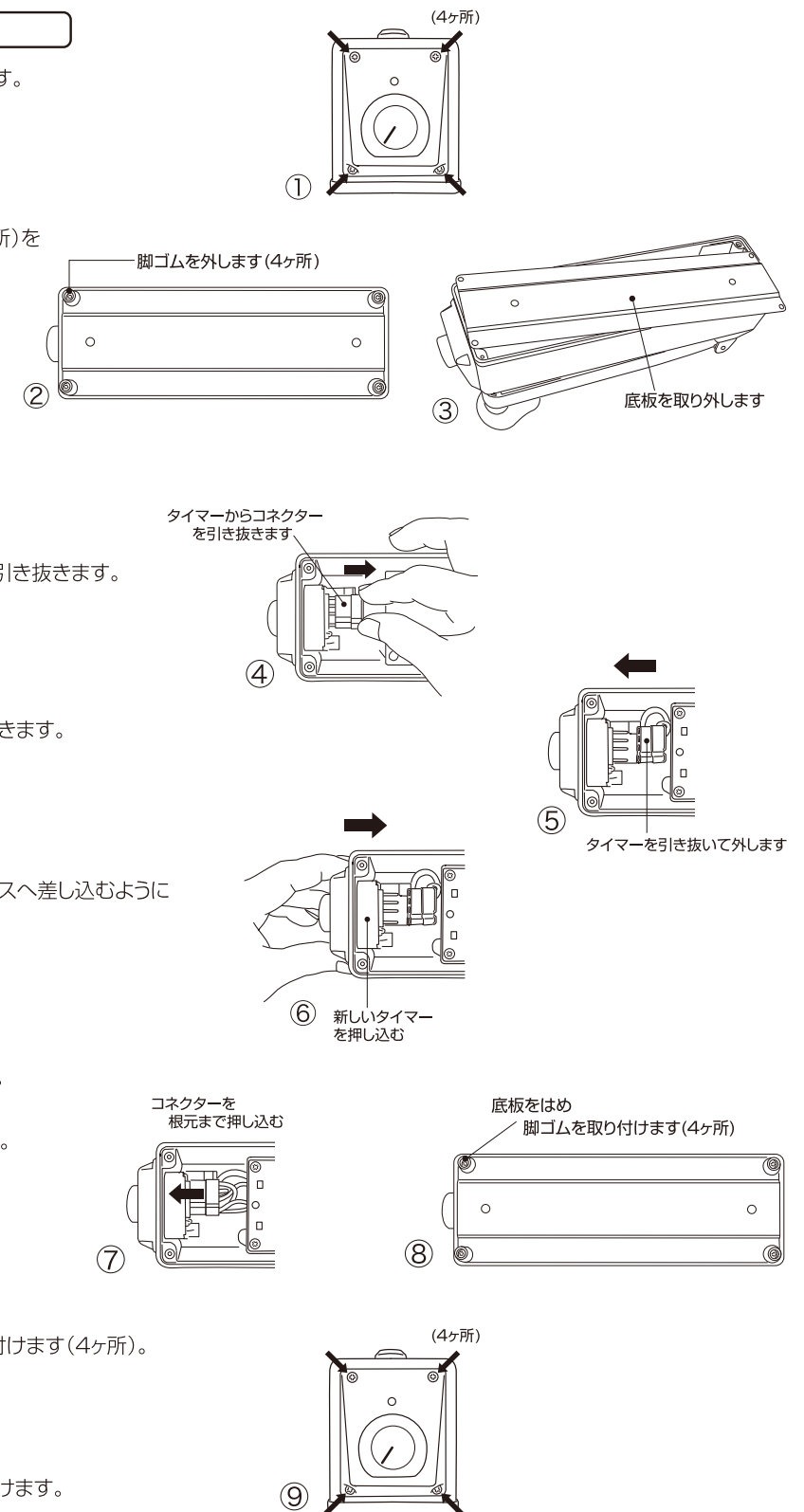
⑤タイマーを本体から引き抜きます。

⑥新しいタイマーを本体ケースへ差し込むようにはめます。

⑦コネクターを差し込みます。(根元まで確実に差し込んでください。)

⑧底板をはめ、脚ゴムを取り付けます(4ヶ所)。

⑨タイマー固定ネジを取り付けます。



# 故障かな?と思ったら

電源コードを確認後、コンセントに差し込み下記の故障状況を確認してください。  
部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

調べる ところ	症状	圧着レバーを 押ししても通電しない	タイマーランプが 切れる	タイマーランプは 点灯するが、ヒーターが 熱くならない	ヒーター線が 断線しやすい	シールがきれいに できない	ビニールの 切断ができない (NL-202JC-5 NL-202JC-10 NL-302JC-5 NL-402JC-5)	修理及び処理
電源コード		●						断線の場合は交換してください。
差込プラグ		●						プラグの根元を確認し、不良ならば交換してください。
タイマー		●	●					タイマーランプが点灯しない場合は、交換してください。
タイマー目盛り			●		●			タイマー時間を再度調整してください。
ヒーター線				●	●			ヒーター線の上下や、キズを確認してください。
シリコン粘着テープ				●	●			シリコン粘着テープを交換してください。
テフロン粘着テープ				●	●			テフロン粘着テープを交換してください。
ヒーター張力スプリング				●	●			ヒーター端子との接触部分を、ペーパーなどで磨くか、交換してください。
圧着シリコンゴム					●	●		キズ、へこみがあれば交換してください。
テフロンシート						●		汚れ、穴あきの場合は交換してください。
作業状態					●	●		作業間隔と、冷却時間が短いためですので、冷却時間を多くとってください。
カッター刃							●	刃に付いているロウを取り除くか、新しい刃と交換してください。
本体温度		●						異常に熱い場合、安全装置が働きます本体を冷ましてください(1時間以上) NL-202JC-10のみ

# 仕 様

型 番	NL-202JC-5	NL-202JC-10	NL-302JC-5	NL-402JC-5
定 格	100V-540W	100V-930W	100V-660W	100V-880W
	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
シール寸法(mm)	幅5×長さ200	幅10×長さ200	幅5×長さ300	幅5×長さ400
タイマー	0.6---~3.5sec	0.4~3.0sec	0.6~3.2sec	0.6~3.2sec
製品寸法(mm)	奥行380×幅92×高さ265	奥行380×幅92×高さ265	奥行470×幅92×高さ280	奥行570×幅92×高さ285
質 量(コード除く)	3.9kg	4.4kg	5.0kg	5.3kg
付 属 品	ヒーター2本 テフロンシート2枚 テフロン粘着テープ2枚 カッター刃1枚	ヒーター2本 テフロンシート2枚 テフロン粘着テープ2枚 カッター刃1枚	ヒーター2本 テフロンシート2枚 テフロン粘着テープ2枚 カッター刃1枚	ヒーター2本 テフロンシート2枚 テフロン粘着テープ2枚 カッター刃1枚

※本書に掲載のイラストと実際の製品には若干の相違がありますので、あらかじめご了承ください。

# アフターサービスについて

- 使用中に異常が生じた場合は、差込プラグをコンセントから引き抜いて、使用を中止し、速やかにお求めになった 販売店、電気店、工具店、またはシュアお客様ご相談センターへご連絡ください。ご連絡される時は、お買い上げの時期および器具の型名をお知らせください。
- 補修部品の保有期間は生産打切り後5年です。

## 交換用サプライ品

製品型式	ヒーター 5本入		テフロンシート 10枚入		テフロン粘着テープ 定寸 5枚入		テフロン粘着テープ 18mm幅/3m巻	消耗品交換セット		圧着シリコンゴム	カッター刃
	型式	入数	型式	入数	定寸	入数	巻(3m)	ヒーター テフロンシート 定寸テフロン粘着テープ	各2		
NL-202JC-5	NPH-212-5	5	NPT-212C	10	NPN-212C	5	NPN-T2	NPS-212-5		NL-202JC-5用圧着シリコンゴム	JC用 カッター刃
NL-202JC-10	NPH-212-10	5	NPT-212C	10	NPN-212C	5		NPS-212-10		NL-202JC-10用圧着シリコンゴムシール用 NL-202JC-10用圧着シリコンゴムビニール押さえ用	
NL-302JC-5	NPH-312	5	NPT-312C	10	NPN-312C	5		NPS-312-5		NL-302JC-5用圧着シリコンゴム	
NL-402JC-5	NPH-412	5	NPT-412C	10	NPN-412C	5		NPS-412-5		NL-402JC-5用圧着シリコンゴム	

※NL-202JC-10のシリコンゴムはシール用とビニール押さえ用で異なります。●その他は共通

■お求めは弊社ホームページのWebSHOPまたは、お買い上げの販売店へお申し付けください。